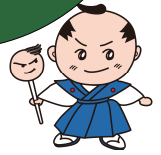




令和5年9月号



2023年夏の暑さ

今年の夏は気温が高い日が多くなりました。6月から8月にかけて月平均気温は高い方から1位を記録し、最低気温が25℃を下回らない日数は観測開始から最も多い日数となりました。8月23日と24日には最も高い最低気温を観測しました。
(8月末までのデータのため日数などは今後増える可能性があります)

2023年の暑さの記録

観測開始以来最も高い記録

- 6月月平均気温、最高気温月平均
- 7月月平均気温、最高、最低気温月平均
- 8月月平均気温、最高、最低気温月平均
- 7月最低気温25℃以上日数 9日
- 8月最低気温25℃以上日数 21日
- 年間の最低気温25℃以上日数 30日
- 8月23日・24日最低気温 27.1℃
- 8月最高気温30℃以上日数 28日
- 夏の平均気温、最高・最低気温平均

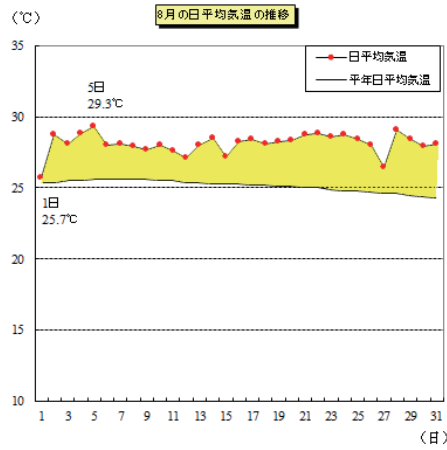
8月の気候

8月は、高気圧に覆われる日が多く、台風が日本周辺を進んだため湿った空気が入る時もありましたが、気温が高く、雨は少なくなりました。月平均気温は28・1と平年よりかなり高く8月としては過去最も高くなりました。最高気温、最低気温の平均も8月として過去最も高く、最低気温が25℃以上の日数も21日と最も多くなりました。月合計降水量は61・5ミリと平年の51%。月合計日照時間は245・2時間と平年の142%でした。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

はじめ湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないですが、次第に数日の周期で変わるようになる予想です。平均気温は「高い」降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」の見込みです。



8月の台風

8月は4つの台風が日本に影響を与えました。

台風第6号

夏台風特有の複雑な動きをし、南西諸島付近に1週間近く影響を与えながら、九州の西の東シナ海を北上し朝鮮半島に進みました。日立市付近には直接の影響はないものの、湿った空気が入り大気の状態が不安定な日が続きました。

台風第7号

小笠原諸島付近から日本の南の海上を北西へ進み、15日5時前に和歌山県潮岬付近に上陸、13時頃には兵庫県明石市付近に再上陸し、日本海へ進みました。日立市付近には直接の影響はないものの、湿った空気が入りやすく発達した雨雲が通過する時もありました。東海地方から西日本にかけて大雨となり、15日には鳥取市には大雨特別警報も発表されました。

台風第9号

フィリピンの東に24日に発生し、停滞していましたが、月末に南西諸島へ影響がありました。

台風第10号

南鳥島近海で25日に発生。他の台風と違い早く移動し、27日から28日にかけて関東の東の海上から東北地方の東の海上を進みました。



天気用語の基礎知識

霜注意報

霜により災害が発生する恐れがあると予想したときに発表される。具体的には、春・秋に気温が下がって霜が発生することによる農作物や果実の被害が発生する恐れがあるとき。基準としては、早霜・晩霜期に最低気温3度以下が予想される場合で、日立市においては、4月や10月から11月に発表される。早霜・晩霜期なので、冬の期間(12月から3月頃にかけて)は3度以下の気温が予想されても発表されることはない。霜については警報や特別警報はなく、注意報のみである。

神峰の山から

今年の夏は暑いと書きましたが、筆者は汗かきなので、その量でも実感しています。毎年夏は出勤時にはすでに大量の汗をかいてやってくるのですが、今年はそれも長い期間続いています。特に頭から汗をかくため、頭から首筋にかけて汗が流れ落ちていきます。子どもの頃から、汗が凄いの坊主頭にしていたほどです。今でも子どものようにびしょびしょだねと言われてしまいますが、いい年したおじさんが恥ずかしいところです。無駄なお肉がなくなれば少しは緩和するのでしょうかね。

頭の上の方は薄くなってきているので冷えるかと思うのですが、関係なさそうです。